

令和 8 年度文化・スポーツ知事感謝状受賞者について

1 文化部門

分 野	氏 名	主な役職等	住 所
美術 (洋画)	くげ みつお 久家 三夫	福島県美術家連盟副会長	福島市
郡山女子大学短期大学部教授として学生の指導にあたり、退職後も福島大学及び郡山女子大学附属高等学校で非常勤講師を務めるなど、長年にわたり後進の育成に尽力した。現在は福島県美術家連盟副会長、県北美術家連盟会長として、地域の文化振興に取り組んでいる。 また、福島県総合美術展覧会の運営委員や審査員を務めたほか、福島県文化財センター白河館「まほろん」のシンボルマークを制作するなど、本県の文化・美術の振興に寄与している。			

分 野	団 体 名	所在地
音楽 (合唱)	こおりやまだんせいがっしょうだんだんからっく 郡山男声合唱団ドンカラック	郡山市
国鉄郡山工場男声合唱団創立 50 周年記念演奏会を契機に結成された後、精力的に演奏活動が続けている。東日本大震災が発生した平成 23 年にはロサンゼルス合唱祭に招待され演奏したほか、国民文化祭にも過去 5 回出演するなど、演奏を通して男声合唱の魅力を県内外に発信してきた。 また、福島県男声合唱連合の設立に尽力したほか、福島県男声合唱フェスティバルの運営にも携わるなど、県内の男声合唱の発展に寄与している。		

分 野	団 体 名	所在地
美術 (日本画)	にほんがそうびかい 日本画創美会	福島市
昭和 38 年に設立されて以来、日本画家や愛好者が自由に創作活動に励む場として、毎年「日本画創美展」や小品展を開催。日々作品制作や研修等に力を注ぎ、県内の日本画の振興に積極的に取り組んでいる。 創設当初から日本画講習会を開催し、酒井三良、大山忠作など本県出身の著名な作家を迎えて研鑽を重ね、県内外の公募展で活躍する会員を数多く輩出した。また、福島市民美術展覧会への出品や運営にも協力し、地域の芸術文化の振興に貢献している。		

2 スポーツ部門

分 野	氏 名	主な役職等	住 所
スポーツ (水泳)	いき 壱岐 ひろみ	一般社団法人 福島県水泳連盟 会長	福島市
福島県水泳連盟会長として、各地区水泳協会、スイミングクラブ、高体連、中体連など、垣根を越えて多くの指導者を支えてきた。また、平成 25 年から令和 5 年にかけて東北水泳連合の会長を務め、東北 6 県の水泳連盟をけん引した。 さらに、東日本大震災により県内各地のプールが被害を受けるなか、県大会や東北ブロック大会の開催環境を整えるため、県内初となる屋内 50m プールを備えた郡山しんきん開成山プールの建設に尽力するなど、本県水泳競技の発展に多大な貢献をした。			

分 野	氏 名	主な役職等	住 所
スポーツ (サッカー)	かんの たかお 菅野 貴夫	一般財団法人福島県サッカー協会 名誉会長	福島市
県立郡山商業高等学校サッカー部監督として、昭和 54 年の全国総合体育大会福島県大会で優勝し、滋賀インターハイに出場。同年の東北高校サッカー選手権大会では第 3 位、福島県新人大会では優勝に導くなど、優れた競技実績を残した。 また、30 年以上にわたり一般財団法人福島県サッカー協会の要職を歴任し、令和 2 年からは会長、現在は名誉会長として、本県サッカー競技の普及発展、競技力向上に尽力した。			

分 野	氏 名	主な役職等	住 所
スポーツ (野球)	むなかた おさむ 宗像 治	福島県高等学校野球連盟 顧問	福島市
長年にわたり県立高校の野球部監督を務め、棚倉高等学校を県大会準優勝、福島北高等学校を県大会優勝、東北大会準優勝、さらには春の選抜甲子園初出場へ導くなど、多くの強豪校を育成した。また、平成 16 年から福島県高等学校野球連盟理事長を務め、現在は顧問として本県高校野球の発展を支えているほか、東北地区高等学校野球連盟理事長、日本高等学校野球連盟役員なども歴任。本県のみならず、全国の高校野球の振興及び後進の育成に尽力している。			